

道連1万5,094筆の署名提出 60万人要請署名



全国から集まった50万筆の要請署名

また、実務対応関係も最大限配慮いただき、今回集約した50万もの署名は組合員の願いなので、是非ご理解、ご協力をお願いしたい」と保険証の存続を訴えました。

中、どうしてもデジタルの仕組みに移行しないと日本はやっていけない国民一人につき1枚持っているマイナンバーカードを活用しない手はない」とデジタル化の必要性を強調しました。

「デジタル時代における人と人のつながりを確保する方策をどう考えるか。皆さんの活動(保険者機能の発揮)と(保



工藤副委員長から井原保険局長へ署名が手渡されました

政府がマイナンバーと健康保険証の一体化により2024年秋から保険証の交付を廃止する方針を示す中、私たち全建連22国保組合では、毎年保健証交付会などを実施し、仲間との繋がり強化とともに、組合員の帰

50万7239筆を 保険局長へ提出

10月5日には全建連からは工藤副委員長、野書記長、松尾社保部長が厚労省を訪問。医療保険制度を所管する厚生労働省の井原保険局長のほか、日原審議員、笹子国保課長が出席するなか、全国より集まった50万7239筆の要請署名を提出しました。

くなるほか、「組合加入意識が大きく低下することが懸念されます。こうしたことから、全建連は「国保組合の育成・強化、保険証交付の継続を求める60万人要請署名」を実施しました。道連では皆様のご協力により、目標の1万4,715筆を超え、24組合より合計1万5,094筆(達成率106.1%)の署名を集めることができました。



(左)工藤委員長(右)笹子国民健康保険課長

厚労省 笹子課長が道連北建国保を
表敬訪問

厚生労働省保険局笹子宗一郎国民健康保険課長が10月2日、公務で北海道庁へ来庁した際に、多忙なスケジュールの合間を見て全建連北海道連北海道建設国保組合を表敬訪問しました。当日は工藤執行委員長、矢萩書記長らが応対しました。

秋のハガキ要請行動 1人2枚の達成を

2024年度国保組合関係予算の概算要求額は増額要求を実現した一方で、国保組合関係予算をめぐる情勢では、義務的経費等において医療費や被保険者数の伸びなどが反映されることをはじめ、厳しい状況が予想され、国保組合関係予算の増額要求への取組みが重要となつてきます。

秋のハガキ要請行動は組合員1人2枚以上を目標とします。私たちの命と暮らしを守る建設国保予算確保のため、組合員本人及び、ご家族の協力も頂ながら全組合で目標達成に向け取り組み強化をお願いします。

「ハガキの道連への到着は11月21日(火)までお願いいたします」

道連青協 函館市内保育園へ 函館市内保育園へ



ご協力いただきありがとうございました



子供たちの安全を願って作業しました

道連青協では北東青協統一行動として組織活動を行つています。今年度は更なる組織拡大・地域貢献・職人PRのため札幌市以外での開催を検討した結果、函館市内での修繕ボランティアを実施を決定。高橋議長(札幌)を筆

頭に、七夕副議長(小樽)、松崎副議長(札幌)、福原幹事(札幌)、川村幹事(函館)、宮越幹事(小樽)の幹事6人を含む組合・赤井委員長の同行の下、開会式を行い、高橋議長からのあいさつ、赤井委員長からのあいさつ・作業説明がありました。参加者は活動趣旨、注意事項を再確認したあ

マイスター倶楽部 第12回親睦会 新球場見学ツアー満喫

10月16日、道連シニア会は「マイスター倶楽部」第12回親睦会を開催。北広島市「エスコンフィールド北海道」見学後、千歳市「サッポロビール北海道工場」にてジンギスカンを食べながらの親睦会を行う内容で、札幌・小樽・名寄・北見・網走・江差・釧路より21人が参加しました。ファイターズガールの案内による球場内の見学や、「夕

ワイレブン温泉&サウナ」での入浴をそれぞれ楽しみました。

濱口美智子さん「江差」初秋のおだやかな気候のなか、シニアの集り「エスコン」見物とサッポロビール工場内の懇親会に参加し、日常の生活を忘れ球場の素晴らしさに感激し、やはり現実とテレビでは「百聞は一見にしかず」。球場を目のあたりにし、皆感激参加者の笑顔に、又健康で動けることの幸福に感謝です。貴重な機会を与えて頂き、又来年はどこかしらと、精進したい毎日です。ありがとうございました。

と、各持ち場で作業を開始しました。修繕内容は、教室・室内リフト・錠の交換・ドスの修繕、園児用の椅子の修繕などで、参加者はそれぞれ担当分野に分かれ、ひとつひとつ修繕箇所を確認しながら作業を進め、最後まで全員で協力し取り組みました。小澤園長からは「子供たちのため細やかな配慮をして頂きながら手際よく修繕をしてくださる感謝です。先生方も喜んで足を運んで下さりありがとうございます。遠いところからお喜びのコメントをいただき、大変意義のある青協組織活動となりました。道連青協では来年度も職人PRと地域貢献を趣旨としたボランティアを継続していきます。ご協力いただいた皆様、お忙しいところありがとうございました。